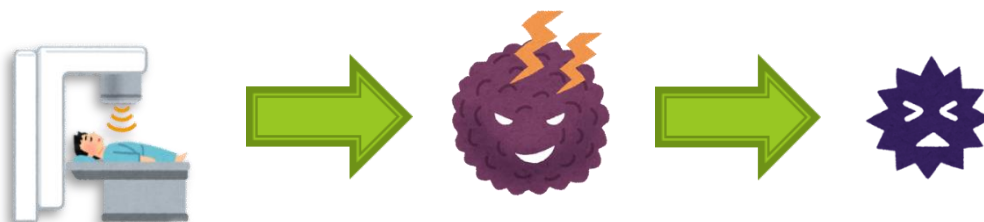


がん放射線治療について

放射線治療とは・・・

放射線を病気の部位を照射することにより、がん細胞内の DNA にダメージを与えて、がん細胞を死滅させる治療方法です。

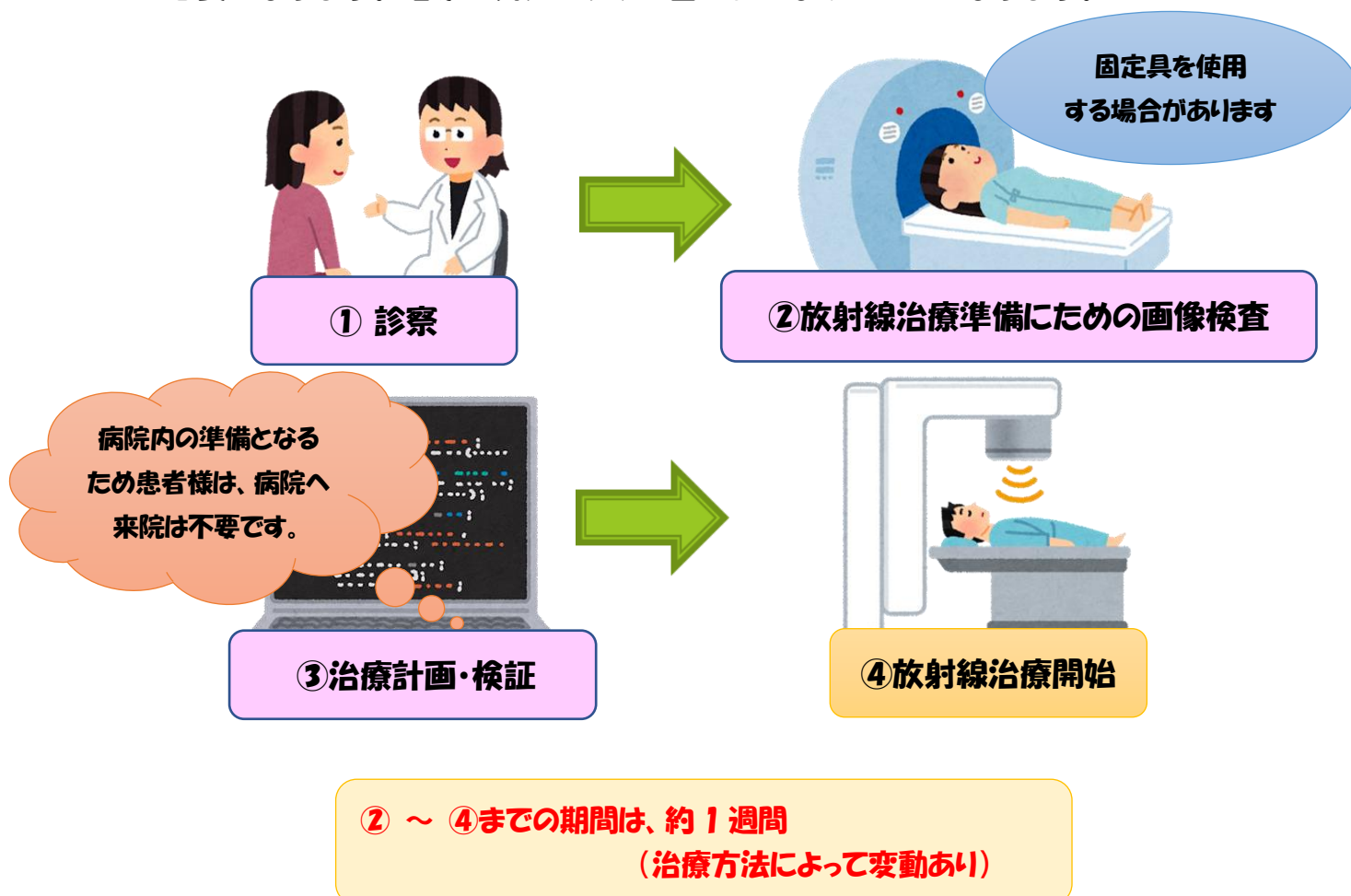


がん細胞のみがダメージを受ける訳ではなく、周囲の正常組織もダメージを受けるため副作用が生じます。治療中に生じる急性障害と照射後に生じる晩期障害がありますが、なるべく副作用が少なくなるように照射を行います。

治療の日数については、放射線治療医の診察を受けて決定します。通常は平日毎日の通院で、数週間かかるものが多いです。（土日・祝日は除く）

放射線治療の流れ

放射線治療は診察後にすぐに行う事は出来ません。治療を行うための準備が必要になります。治療の流れは以下の図のようなイメージとなります。



Q1 放射線治療を受けたら、家族や周囲の人に影響ありませんか？

お答え

外部照射（外から当てる放射線）は、放射線は照射の時のみ身体を通り抜け、その放射線が身体に残り、ご家族や周囲の人が被曝をすることはありません



食事をする事や一緒に
過ごす事も出来ます

Q2 放射線治療をする時、痛みや熱さはありますか？

お答え

照射中（治療中）に痛みや熱さはありません。

しかし数分間は動かずにじっとしていることが必要です。

Q3 治療で印を書いたらお風呂にはいったらダメですか？

お答え 入浴は問題ないですが、以下の注意が必要です。



熱いお湯



長風呂



身体を擦らない

Q4 仕事や家事は今まで通りできますか？

お答え

外来通院であれば、基本的に通院・治療時間の確保が行えれば両立は可能です。肉体的・精神的の過度な負担とならないように調整は必要となります。なお治療時間は予約制となります。

治療時間については、可能な範囲でご希望に添えるように配慮は行いますが予約状況や治療内容によってはご希望に添えない場合もあります。初診時に具体的な事については、お話を伺いご相談をさせていただきます。



その他、放射線治療の流れや副作用などについて治療をする上での困り事があった場合、放射線治療室のスタッフがお話を聞いて、患者様・ご家族と一緒に解決をしていきます。放射線治療に来られた際は、お気軽にスタッフへご相談下さい